

ご逝去をいたみ お祈り申し上げます



私どもが尊敬してやまなかつた瀬戸町名誉町民毛利松平氏の悲報に接し心よりお悔み申し上げます。
先生が政治家として第一線を退かれましたも、今後も瀬戸



瀬戸町長 阿部 茂 久

名譽町民
毛利松平先生を
偲んで

戸町のよき理解者としてご指導を仰ぎたいと願っておりました時、今先生を失う事は断腸の思いであります。
先生は、瀬戸町大江出身で慶応大学法学部政治学科を卒業され政治を志し、昭和三十三年五月、本県から衆議院に初当選して以来九期二十五五年間に渡り内政・外交及びスポーツ面など大きな足跡を残し、当地が生んだ偉大な政治家といえます。
この間、第二次田中内閣において、環境大臣環境庁長官で入閣、環境行政発展のため尽力すると共に長期にわたって大蔵委員会に所属し公共事業の予算獲得をはじめ南予水

資源開発、新国道一九七号線改良工事など道路整備はもたらんのことと永年にわたる国政進展に尽力されました。また、国際社会においても政治家として手腕をふるわれ昭和五十一年日韓議員連盟を結成。日韓交友に努められ昭和五十九年六月には韓国から韓国修交勲章光化章を受賞、昭和五十八年には勲一等瑞宝章を受賞されました。
先生は常に故郷を愛され燃えるような情熱で心血を注がれた政治家として、県政重要施策の推進と地方自治の発展へと残されたご功績の数々は千載不朽のものであり、郷土の誇りとして深く敬意を捧げて参りました。

町においても、昭和五十九年二月一日、氏の数々の業績と徳望に対して第一号の名譽町民の称号を贈り、又庁舎前には胸像を建立し後世に先生のご功績を讃え続けて参ります。そして、先生の足跡を汚すことなく前進することが何よりのご供養と思つて町民一同精進して参ります。
終わりに毛利先生のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともにご遺族の方々に深く哀悼の意を表しまして追悼の言葉といたします。

郷土のほこり 毛利松平先生死去

瀬戸町名誉町民第一号である毛利松平先生が五月二十四日午前十一時二十四分、東京の入院先で急性心筋梗塞のため死去された。七十一歳。自宅は東京都渋谷区上原三丁目四三―一。葬儀は準自民党葬として六月二十六日行われた。
毛利氏は、昭和十三年慶応大学法学部卒業。本県衆議院三区で三十三年から九回連続当選。外新政務次官、衆議院大蔵委員会、党副幹事長、党県連会長など歴任。
四十九年第二次田中内閣で環境庁長官を務めた。
五十八年十二月、糖尿病による健康悪化のため勇退した。県内の公共事業の遂行に大きな力を発揮した。引退後は、党顧問、日本武道館副会長、国民外交協会理事長を務めていた。五十八年十一月、勲一等瑞宝章、五十九年十一月、県功労章、五十九年十二月、瀬戸町名誉町民章を受賞。
五月二十一日体調を崩し、かかりつけの病院に入院して



昭和60年6月30日発行
発行所 瀬戸町役場
☎0894 (代) 52-0111
〒796-05 愛媛県瀬戸町三机
編集企画課

特集

瀬戸町名誉町民 故毛利松平先生を偲ぶ



毛利松平先生は瀬戸町大江出身。大正十五年大江小学校卒業、三机高等小学校に学び昭和十三年慶応義塾大学法学部を卒業。昭和三十三年本県三区から衆議院議員に初当選して以来九期二十五年間にわたり国政に参画された。
この間、衆議院大蔵委員長などの要職を歴任、環境行政に力を傾けた。

また生涯を政治一筋に邁進され、永年にわたる国政進展新国道一九七号線改良、南予水資源開発など県政重要施策の推進と我が郷土瀬戸町の発展に貢献された。

皇居に於いて▶
(授賞式)
(昭和58年11月)



政治一筋にかけた
毛利先生の活躍の場面



◀ 長野県南アルプス・スーパー林道を視察する環境庁長官毛利先生。
(昭和49年)



▲ 青年政治家
毛利松平衆議院議員誕生/
三木武夫氏と。
(昭和33年5月)

▲ 大蔵委員長
委員長席は
毛利先生
答弁は福田
総理大臣
(昭和45年1月)

超党派の国会議員で結成されている日韓議員連盟の幹事長。日韓の最も大きなパイプ役の毛利先生は、全大統領との親交も特に厚く、日本代表として、数々の日韓会議に出席した。(昭和55年5月)



元国務大臣 毛利松平先生の 環境庁長官 つつしんでご冥福を



瀬戸町会議長
福島朝行

生涯を政治一筋に

つつしんで 瀬戸町名誉町民、勲一等瑞宝章、故毛利松平先生に哀悼の誠をさきげます。
昨年十二月の名誉町民章贈呈式でお元気なお姿に接し、益々の御活躍を願っておりましたところ先生の訃報に深い驚きと悲しみを禁ずることができませんでした。
先生は政治の道一筋に三〇有余年、国政、県政、且つ又郷土の発展に多大の貢献をされたその御功績は万人の等しく認めるところでございます。あくなき情熱を政治に注がれた輝かしい業績をたぐ、生前の面影を偲びつつ心から御冥福をお祈りいたします。
毛利先生どうぞ安らかにお眠りください。

国政、県政、郷土発展のために御活躍された毛利松平先生の経歴を紹介します。

◆経 歴

- 昭和33年5月 衆議院議員初当選
- 昭和35年11月 衆議院議員二回目当選
- 昭和35年12月 大蔵委員理事就任 (昭和38年12月退任)
- 昭和38年11月 衆議院議員三回目当選
- 昭和38年12月 外務政務次官就任 (昭和39年7月退任)
- 昭和40年2月 外務委員理事就任 (昭和42年3月退任)
- 昭和41年1月 自由民主党国会対策副委員長就任 (昭和45年1月退任)
- 昭和42年1月 衆議院議員四回目当選
- 昭和42年3月 大蔵委員理事就任 (昭和44年12月退任)
- 昭和44年12月 衆議院議員五回目当選
- 昭和45年1月 大蔵委員長就任 (昭和46年7月退任)
- 昭和46年7月 自由民主党政策審議会委員就任 (昭和47年7月退任)
- 昭和46年10月 沖縄及び北方問題に関する特別委員理事就任 (昭和47年7月退任)
- 昭和47年7月 自由民主党副幹事長就任 (政務調査会担当) (昭和49年7月退任)
- 昭和47年12月 衆議院議員六回目当選
- 昭和49年7月 国務大臣環境庁長官就任 (昭和49年10月退任)
- 昭和49年11月 国務大臣環境庁長官再就任 (昭和49年12月退任)
- 昭和49年12月 自民党都市公園緑地対策特別委員長就任 (昭和59年3月退任)
- 昭和49年12月 国会大蔵委員、外務委員会筆頭理事就任 (昭和58年11月退任)
- 昭和50年1月 日韓議員連盟幹事長就任 (昭和59年2月退任)
- 昭和51年12月 衆議院議員七回目当選
- 昭和52年3月 海洋議員連盟会長就任 (昭和59年8月退任)
- 昭和54年10月 衆議院議員八回目当選
- 昭和54年11月 税制調査会副会長就任 (昭和58年11月退任)
- 昭和55年5月 日本武道館理事長就任
- 昭和55年6月 衆議院議員九回目当選
- 昭和59年1月 国際武道大学常任理事

◆主な表彰歴

- 昭和58年2月 衆議院在職25年表彰
- 昭和58年11月 勲一等瑞宝章
- 昭和59年6月 韓国修交勲章光化章
- 昭和59年11月 県功労賞
- 昭和60年5月 叙位従三位



座右の銘
「一以貫之」
「以って之を貫く」

毛利先生のおいたち

毛利先生の政界入りするまでの
おいたちを紹介しします。

「がいな男」の少年時代
毛利松平先生は、大正二年七月十六日、瀬戸町大江に生まれました。父久松、母セキきょうだいは、兄三人、姉一人、弟一人、妹一人の計七人で四男である。少年時代は、要するにガキ大将だったようである。生まれた時嬰兒を一目見た父は「うちにも大臣が生まれたあ」と喜んだという。将来大物になるぞと直感したものでらしい。

小学校は、自宅近くの大江小学校に通った。当時の小学校の児童は、約六〇人を数えた。この校舎はいまは跡形もなく現在は、大江集会所が建っている。

大江小学校を卒業して、三機の高等小学校へ進学したのは、大正十五年の春。
卒業は、昭和三年三月。卒業生は、全部で七十四人である。恩師 故織田長雄先生は、氣力と体力の優秀さを見て、かねがね「毛利はがいな男ぞよ」



▲日本武道館理事長毛利先生は、慶応大学時代柔道部の主将、武道の合計段位数は24段と国会議員の最高。(昭和13年3月)

と目をつけていた。そのころ三机村からさらに上級の中学へ進むのは、年に一人か二人しかいなかったという。

大洲中学校へ進学
中学時代は、勉学と柔道とに明け暮れ不屈不屈の精神力の育成に意を用いたようだ。少年時代に片鱗を見せた大志への憧れは、ここでも磨かれてゆく。中学校時代学校では、毎年一回生徒に身上書を書かせた。「将来、志望すること」との項に例によって「大臣」と

書いた。中学に進学しても志は、全く変わらなかったのがある。
勉学を除けば中学時代は、柔道に明け暮れ、初段獲得は中学三年の時。柔道初段の免状は、昭和六年二月十二日付。大日本武徳会会長二位勲一等功三級本郷房太郎名ものが大江の生家に残されている。



慶応の学生時代

(慶応の学生時代)
慶応義塾法学部政治学科へ進んだのは、昭和七年四月である。同期生は、約八〇名であった。入学した翌五月には五、一五事件が起き、大衆首相が射殺された。戦火と軍靴の足音が学生生活の身辺にも迫ってくる時代だった。大学時代政治への思いは、体内で益々つづいていったようである。

昭和十三年四月満鉄へ慶応を卒業して社会人となり、昭和十三年四月満鉄に入社した。満鉄は、日露戦争のあと明治三十九年に創立された国策会社である。満州で結婚して二女をもうけた。しかし、敗戦によって昭和二十一年妻子と共に日本へ帰ってくる。

政治一筋
昭和二十七年夏、初出場を決意これより先政治の道一筋に三〇有余年、国政、県政、郷土の発展のために貢献することになる。



満鉄本社

毛利松平代議士の少年時代

井 上 悦 夫

大江小学校の頃の遊び、城取り合いが、一番印象に残っている。それは、棒切れを双方の陣地(一尺角位の石を置いた地に印をつけておく)に置いておく。相手のそれを取って帰って自分の陣地に当てた方が勝ち。男子は、一年から六年まで紅白に分かれての熱戦。
毛利さんが一方の大將。もう一方の將は島内高人さん(若くして戦死)、この人も毛利さんに劣らずよい体格であり力持ち。この二人を中心としてみ合う。着物の袖などち切れてしまうことは当りまえ。毛利さんが「ナニクン」と言っで上体をゆすると周囲の者は、こけてしまう。松ちゃん(毛利代議士のことをこう呼んでいた)は、強いなあと思ったものでした。
冬になるとあきもせずこの城取り合いは、今日も明日も毎日繰り返されるのでした。

父はいつもこんなに言っていました。めたり驚いたりしては、また、毛利家は商売をしていたので、正月にはよく注文取りに来ることがありました。一小父さん、お正月が来ましたが、お煙草はどうでしょうか……など言っで。父は、「あんたは偉いの」と言っで注文していました。そして後から、「あの子はおう大人じゃが」と言っでおりました。

夏浜に行った時「おらん、大きなつら赤鯉(しん)のとこい軍艦運れち来解けんお前ら見に来いや。見せちやるけん。」と、私たちが悪童どもは目を丸くして聞き入ったものでした。当時軍艦は、子供たちのあこがれでした。
毛利さんの弟さん幸ちゃんとは私と同級で大の仲良しでした。よく遊びに行っで、毛利さんに自転車に乗せてもらうのを楽しみにしていました。
ある時、毛利さんが寒山をするの手伝いました。石を

「あの子(毛利さん)はなんは冷え日でも足袋はいちやら。偉れ子じゃ」と、



毛利先生が少年時代をすこした現在の大江

瀬戸町名誉町民

事 績

- 昭和五十八年十二月二十六日 条例制定
- 昭和五十九年 一月二十三日 議会の同意議決
- 昭和五十九年 二月 一日 名誉町民第一号指定
- 昭和五十九年十二月 三日 名誉町民章贈呈



毛利松平先生頌徳胸像 (瀬戸町庁舎前庭)



あいさつにたつ毛利先生、名誉町民章贈呈 (三机地区体育館)

日程	地区名
6月28日	大久
7月4日	川之浜
5日	垣成
18日	志津・小島
19日	大江・足成
2日	神崎
8月1日	田部・高茂
2日	佐市・高浦
11月21日	上倉
22日	三机・松之浜

健康診査は、
1. 定期的に受診し
2. 検査結果を記録・保管し
3. これまでの全ての経過を参考にしながら
4. 適切な指導をうける。
以上のことを目的としています。
次の日程で、今年度も健康診査がはじまりますので、健康手帳をもって、受診しましょう。検査会場は各地区集会所等です。

一般健康診査がはじまります

ごまごま保健婦です



検査内容は、
結核レントゲン検査
受付・身体計測
尿検査
問診・血圧測定
貧血検査
血液検査（血糖・コレステロール・肝機能検査・心電図・眼底検査）

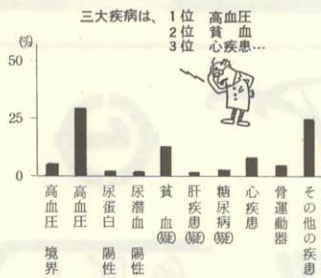
一般健康診査の結果（59年度）

医療機関に近い地区の受診が少ないようです。検査を受けない理由として「健康だから」「忙しくて」…というのがあげられています。健康だからこそ、検査の意味があります。

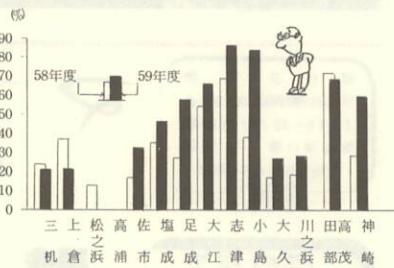


※（ ）内は必要と思われる人のみ
診察 栄養・生活指導
検査 検査料は無料です

2) 病類別有病率



1) 地区別受診率（58年度との比較）



社協だより

在宅福祉サービス事業実施

給食サービス

五月二十二日、日赤奉仕団 婦人としび会の皆さんの協力を受けて、給食サービスを実施した。
この事業は、在宅福祉対策の一環として独居老人に食事を供給することにより、老人の孤独感を和らげるとともに健康で安らかな生活を営む助けを目的として実施されたものです。
給食サービスは、町内在住の七十五歳以上の独居老人、老人家庭奉仕員派遣世帯の人を対象にしています。町内には、対象者は、六十三名とのこと。
独居老人の方は、日々孤独感との闘い、人と人の交流の機会が少ない。
この日は、たいへんうれしそうに給食弁当を手にしています。
このサービス事業は、年六回、次回は十月に予定されています。
日赤奉仕団、婦人としび会のみなさまご苦労さまでした。



建設工事入札結果発表

工事名	工事数量	指名業者名	落札業者名	入札年月日	落札金額	工期
分割1号 四ツ浜漁港海岸保全工事	護岸 L=75.7m	清水建設・藤川建設 末光建設・梶原建設 太陽建設	藤川建設(株)	60. 5.17	18,500,000 ^(円)	60. 5.18 60. 9.30
分割1号 足成漁港改修工事	防波堤 L=20.0m	堀田建設・若築建設 五洋建設・西田興産 二神組	若築建設(株)	同 上	19,500,000	60. 5.18 60. 9.30
瀬戸簡易水道 設計監理事務委託	送水管・配水管 L=9,850m L=5,050m	ライト設計・白石設計 菱和設計・親和設計	親和設計	同 上	8,000,000	設計30日間 監理 本工 事終了まで
県営一般農道(小島地区) 調査設計委託事業	測量 L=4.8km 設計 L=1.6km	南村復興 復美村	南村復興 測量調査 設計 設計	同 上	8,800,000	60. 6.11 60. 11.20
三港第1-1号 三机海岸(高潮) 離岸堤新設工事	離岸堤 L=1.15m L=20.9m	五洋建設・若築建設 三島建設・堀田建設 大成建設・東洋建設 二神組・西田興産 村東	若築建設(株)	60. 6.28	48,500,000	60. 6.29 60. 12.10
三港第2-1号(佐市地区) 三机海岸(高潮) 離岸堤新設工事	離岸堤 L=43.1m L=35.2m	〃	堀田建設(株)	同 上	14,000,000	60. 6.29 60. 12.10
分割2号 足成漁港改修工事	防波堤 L=71.0m	〃	若築建設(株)	同 上	36,500,000	60. 6.29 60. 10.31
三港第1-2号 離岸堤新設工事	中空三角ブ ロック 製作 248個	太陽建設・藤川建設 梶原建設・山本建設 三和建設・清水建設 中川建設・末光建設	山本建設(株)	60. 6.29	10,900,000	60. 6.29 60. 9.30
三港第2-2号(佐田地区) 離岸堤新設工事	六脚ブロッ ク、製作 123個	〃	山本建設(株)	同 上	8,800,000	60. 6.29 60. 9.30
県営林道田部 ワキノ川線開設工事	L=137.24 m	〃	梶原建設(株)	同 上	11,500,000	60. 6.29 60. 11.10

昭和60年4月分
お誕生おめでとう

人々のうごき	
(5月末日現在)	
世帯数	1,349戸
人口	3,669人
男	1,679人
女	1,990人
本籍数	4,443戸
本籍人口	15,135人

お誕生おめでとう

おくやみ

昭和60年5月分
お誕生おめでとう

お誕生おめでとう

おくやみ

おわび

嵐並の都合で「わたしは
独身です」一わが家の「アイ
ド」コーナーはお休みします。
次号をお楽しみに。

編集日記

このうっとうしい梅雨が明
ければいよいよ瀬戸町は、観
光シーズン。

海岸は、海水浴、キャンプ、
磯づりなど多くの観光客であ
ふれる。この期間心配される
のが交通事故と海岸でのマ
ナーの問題。

海岸は、人と海とのふれあ
いの場として恩恵を与えてく
れる。

しかし、最近、利用の拡大、
多様化により地域の環境の悪
化が進んでいる。

海岸は、私たちの豊富な生
活空間、共有の財産としてい
つまでもきれいに保つてもら
いたいものだ。

